

須崎市の子どもたちの 学力について

point!

～ 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果から ～

月 日 ()
日 直 ()

平成26年4月、全国の小学6年生・中学3年生の全児童生徒を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査では、国語と算数・数学の2教科の学力調査と、学習・生活に関するアンケート形式の「児童生徒質問紙調査」が行われました。

調査結果を中心に、須崎市の子どもたちの学力と学習・生活の現状と課題について、ご報告します。

学力の状況について

本年度は、小学校では、国語が高知県・全国の平均を上回り、算数が高知県の平均をやや下回るものの全国平均と同じとなっています。中学校では、国語・数学とも全国平均は下回るものの高知県の平均は上回っています。

本調査が実施された8年前からの経年変化を見てみると、小学校・中学校とも改善傾向にあります。小学校では全国と同程度となっており、依然として全国との差がみられます。

問題別正答率の状況

小学校

国語・算数は共に、基礎的な内容については全国平均を上回り改善が見られ、昨年度課題であった「書くこと」についても改善が見られます。しかし、算数B問題では6年前から全国との差に変化が見られず課題となっています。

今後、授業の中で、基礎的学力の定着を図りながら、それを活用して課題を解決していく力を育てていく必要があります。

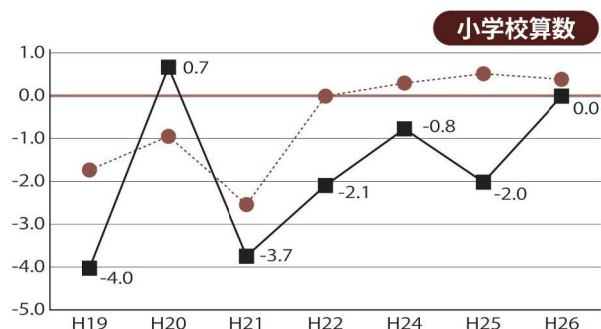
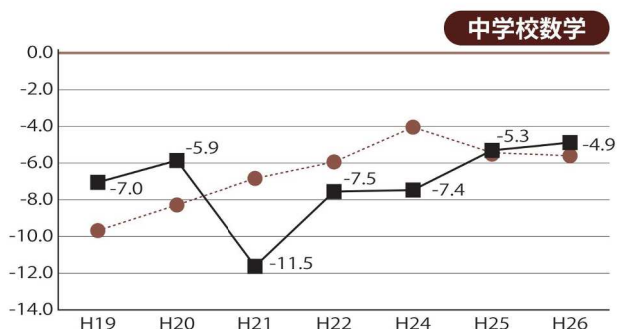
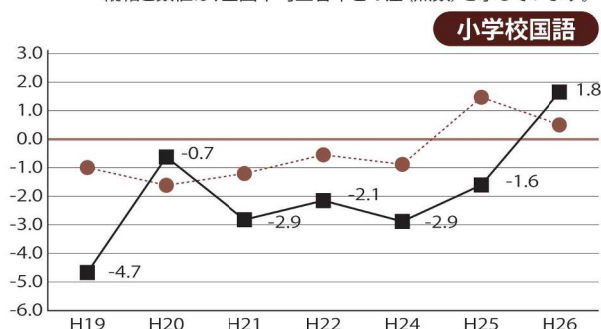
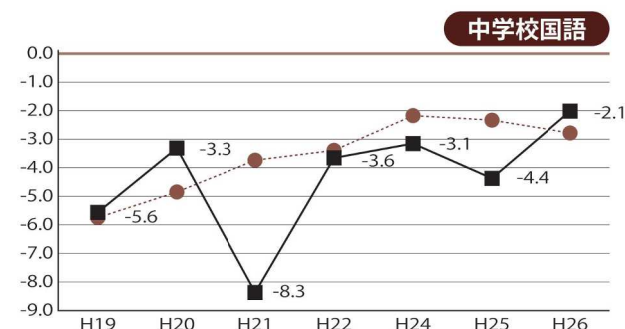
中学校

国語・数学は共に、基礎的な内容については県内を上回り全国平均に近づくなど改善が見られます。しかし、B問題では全国を下回る状況が続いており、課題となっています。

今後、授業の中で、根拠を明確にして自分の考えを書く力や、論理的に説明する力を育てるための取り組みを進める必要があります。

A問題(基礎)・B問題(活用)の平均正答率の推移

須崎市 —■— 高知県 —●—
縦軸と数値は、全国平均正答率との差(点数)を示しています。



グラフは、A問題(主として基礎的な知識)とB問題(主として基礎的な知識を活用する力)の調査結果を平均したものです。(平成23年度は東日本大震災の影響で実施が見送られました)